

□ 要請番号 (JL30617A06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボリビア	G161 体育		グループ型	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

マリスカル・スクレ教員養成高等学校

3) 任地 (チュキサカ県スクレ市) JICA事務所の所在地 (ラパス市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

スクレ市に位置する教員養成校で、教育法070が定める全12の学科中、8つの学科(自然科学/物理・化学/体育/人文科学/哲学/図画工作/音楽/幼児教育)を有する。教師数は35名で、学生数は482名程。教員養成課程は5年間で、修了時に学士が取得出来る。体育学科には教師が3名所属しており、現在112名の学生が就学している。年間予算は全て教育省から配賦されているが、用途が限定されているため、学校の権限で使用できる予算は少額の教材費のみである。同校はJICA帰国研修員が教務主任として勤務しており、上層部の協力体制も整っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ボリビアでは、貧困削減戦略の一環として教育分野での改革が重要な位置を占めている。1994年に教育改革が打ち出されて以来、初等教育や就学前教育における就学率の向上については一定の成果が出つつある。他方で、教育カリキュラムの整備不足、教員の指導力不足などが原因となって、現場レベルでの課題は依然として多い。特に体育について教師の技量不足など、未だに課題が多いのが実情である。

JICAが2003-2010年に実施した「学校教育の質向上プロジェクト-PROMECA」では、教育の質的改善を目指して「子どもが主役の学習」というコンセプトを掲げ、現場教員の能力向上を図るべく様々な取り組みが導入された。こうした取り組みが帰国研修員の教務主任を通じて同校に紹介され、今般同校教員全体の指導力を向上させることで当地における体育の質を高めたいとし、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の同僚と協力し、以下の活動を行う。

1. 養成校の教員や学生に対して授業種目となる球技や陸上、体操の実技指導の支援
2. 実技の指導方法、理論の講義方法に関する教官の能力向上と学生への教育の支援
3. ストレッチ指導などケガの防止や体重・血圧の定期的な測定と記録など、日常の健康管理に係る啓発活動
4. 他のJOCV配属先における体育実技デモンストレーションの支援
5. 実技指導や講義に関する指導書及びカリキュラム作成・改訂の支援
6. 養成校が有するサッカーアカデミーの補助、支援

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、TV、プロジェクター、DVDプレーヤー、テレビ、

4) 配属先同僚及び活動対象者

カウンターパート: 2名

教員(大卒、50代、実務経験35年)

教員(大卒、40代、実務経験25年)

教員35名(20-50代)、内体育学科3名
学生482名、内体育学科112名

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(教員(保健体育))

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験)5年以上 備考：教員への指導も必要となる為

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(高地地中海性気候) 気温：(5~20°C位) [電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(安定)

【特記事項】

日本体育協会スポーツ指導者資格があると良い